

道標ない旅

～「自立」と「共生」を目指して～

令和元年5月14日(第5号)

校長 益田 孝彦 875-9494

◆◆ 各部活動の春の大会の結果をお伝えします。 ◆◆

サッカー部：シード権のかかった予選では三崎中に負けてシードを逃したサッカー部でしたが、そのあとGW中に開かれた逗葉地区中総合では、見事優勝を飾りました。

卓球部：5月6日横須賀アリーナで学年別大会が開かれました。1年生の部で勝ち進んだ根岸君は、3位入賞を果たしました。上級生は、男女とも1・2回戦あたりはかなりの部員が順当に突破して、ベスト16まで進出できた3年生もかなりいましたが、みんな、そこで敗退しました。

バスケット部：男女とも気合いを入れて臨んだ春の大会でしたが、女子は、沼間中には快勝したものの、惜敗した試合も多く勝ちきれませんでした。優勝しシード権獲得を目指していた男子は、順調に勝ち進んでいましたが、久木中に惜敗し、準優勝に終わりました。

バレー部：逗葉地区で優勝したバレー部が、5月3日横須賀大会に登場、神明中、大楠中、大津中と撃破し決勝進出。田浦中を2Vs1で破り、見事優勝しました。顧問の先生も優秀監督賞を獲得しました。

バドミントン部：逗葉地区中総合大会で、ペアと、ペアの2組がそれぞれ第3位入賞を果たしました。

その他、野球部、陸上部なども大会を通し夏に向けての良い経験を積んだようです。どの部活も夏に向けてまた再スタートです。地道に練習を積み上げ、夏の大会で成果を上げてほしいと願います。



◆◆ 体育祭の練習が本格的にスタートしました。 ◆◆

10連休が良い方に働いたのか、気持ちも新たに、学校生活を再開した生徒が多いように感じます。授業を覗いてみても活気があふれていますし、真剣に取り組んでいます。一方、9日から始まった体育祭練習ですが、開会式練習などにもしっかり取り組み、生徒の意気込みの高さがひしひしと伝わってきています。

10日からは気温も急に高くなってきています。まだ高い気温に体が慣れていないので、熱中症には気を付けて指導や支援に当たるよう、学校としても留意していきたいと思えます。

ここでは本年度体育祭実行委員長のメッセージを紹介します。

3年C組

体育祭実行委員長として、自分のやらなければいけない事は完璧にこなし、さらに体育祭全体に目を向け、困っている人などの手助けや、1・2年への的確な指示やアドバイスなど、自分にできることを積極的に行っていきたいと思えます。また今年の体育祭は去年よりも団結力を高め、一人一人が輝き、成長することができる体育祭にしていきます。全校のみんなに良い思い出が残るように、勝っても負けても最後は笑顔で終われるように、全力を出し切り悔いが残らないように、そんな体育祭を目指して全力を尽くしてがんばります。今年の体育祭は去年よりも何倍も盛り上がり、素晴らしい体育祭にしてみせます。

別刷りのプリントで、体育祭についての情報をお伝えしていますが、昨年とちがう部分等をピックアップして紹介します。

1. 当日バスの増発がありますが、例年のように借上バスではないので、利用した場合バス料金がかかります。
2. 駐車場ですが、上ノ山公園の右手駐車場をお借りしています。昨年度重なってしまったテニスの大会は、予備日となっています。テニス大会が雨で流れなければ、駐車場の状況は昨年よりもよいかと思います。もし雨で流れた場合は、事前にメールでお知らせします。乗り合わせや、車を使わないなどの工夫が必要になるかと思えます。
3. 葉山町公立小・中学校は H26 より、敷地内(校地内)全面禁煙です。喫煙者の方々には不自由をおかけしますが、受動喫煙等を防ぎ、禁煙を推進していく上でも、何卒、ご協力お願いします。

◆◆ 生徒総会で活発な話し合いが展開されました。 ◆◆



初参加の1年生を含めて、生徒全体が真剣な討議を経験しているなど感じました。話し合いを通して成長の手がかりを沢山掴んでくれたようです。生徒総会は、総合的な学習の時間を使って、「はやまびと(仮称)」として、公民的資質を高める機会になるような学習機会として用意されています。最後に総会を締めた生徒会長さんが、総会の中で感じ取って作った終わりの言葉を、ここに紹介します。

「今日話し合った3つのことは、今後着実に現実のものになっていきます。「今日話し合った。終わり。」ということではありません。今日決まったものが、来年、再来年と続いて行きます。ここまで沢山の思いがぶつかってできたものは、学校にとって、とても大事なものになります。自分たちの意見でルールが変わっていくことを目の当たりにし、自分たちの意見の力の大きさを感じることができたのではないのでしょうか。

私たちは新しい時代のリーダーとなっていく世代です。様々な考えを持つ人たちと意見を交わし世の中を動かしていきます。様々な意見がある中で、今日のように対立してしまう事は仕方のないことです。だからこそ、今日の活動で得ることができた達成感だけでなく、相手の意見を受け入れることのできる力は、とても大切なものだと思います。今日のことを忘れず、周りの仲間と協力しあい、協調しあっていきましょう。きっと今後の学校生活でも生きてくる力であるはずです。特に今月の25日にある体育祭は、この力が大いに試されるものです。まずは体育祭を目標に一歩一歩全校で頑張っていきましょう。」

凜とした発言でした。それを受け止めた南郷中生徒を含め、大変頼もしく感じました。良い勉強でした。

◆◆ スケアードストレートに寄せられた感想を紹介します。 ◆◆

5月9日、JA共済さんや葉山警察署さんのご尽力で、全国で4校しか選ばれないスケアードストレートの実演を無償で体験できる機会を頂きました。本当に事故が起こってしまう瞬間を目の当たりに出来る経験を通し、生徒はどのように感じたのでしょうか。4人の感想を紹介します。

1年C組

事故というものはいつ起こるかわからない。とても怖いものだと思います。毎日自転車で通学しているので、見通しの悪いところは、右・左をきちんと見てから自転車をこぐ、左側通行をきちんと守る、など普段から少しずつ気をつけていこうと思い、そして「ルールを守るとルールが守ってくれる」この言葉を大切に、ルールを守って安全に自転車をこぎたいと思いました。

1年A組

人が目の前で車とぶつかるのを見て、とても怖いと思いました。そしてヘルメットは大事だと思います。私は6年生の時、ヘルメットをつけなくても大丈夫だと思ってつけていませんでした。でも、実際にあんなことがあったとき、少しでも助かる可能性が増えるなら、つけておいた方が良かったと思います。他にも私は道をすごい速さで走ったりなどいろいろルールを守っていなかったです。なので自分が加害者になるのも嫌だし被害者になるのは嫌なのでちゃんと守っていききたいと思います。

3年A組

自分が、加害者にも、被害者にもなる自転車や車の怖さを改めて感じました。自分が、しっかりルールを守っていても、相手がルールを守っていなければ、事故になってしまうということがわかりました。このことから、みんながルールを守って行動することが、事故をなくすために大切なことだと思います。今回の学習を踏まえて、日ごろから歩く時も、自転車に乗る時も、周りを見て、安全を守り、自分が、加害者にも被害者にもならないように、意識していきたいです。

2年B組

スタントマンさんの事故再現を見て、「絶対にあんな事故にあいたくない。」という気持ちがわいたので、自分も自転車を使うときは気をつけようと思いました。普段、車が20kmほどの速さで走っているとき、遅いなどと考えていましたが、20kmでもあれほどのしょうげきをうけていたので、恐ろしいなと思いました。

今回は私たちに自転車について教えてくれてありがとうございました。

ほとんどの生徒が正しく学び取って、自分の自転車の利用の仕方に思いをはせたようですが、直後に危険な自転車の乗り方をして下校した生徒がいました。自分で学び取ってほしいことであって、教師に怒られて乗り方を変えるではだめです。せっかくスケアードストレートを実施したのに、その生徒には響かなかったのかな?と残念な思いが残りました。生活指導部から別刷りの便りが出ていますので、是非お読みください。